



# 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月6日

上場会社名 ケイヒン株式会社  
 コード番号 9312 URL <http://www.keihin.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大津 育敬

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 荒井 正俊

TEL 03-3456-7825

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	24,834	11.6	583	15.0	675	2.8	385	32.6
30年3月期第2四半期	22,252	6.6	686	77.2	694	112.7	571	169.6

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 417百万円 (55.4%) 30年3月期第2四半期 936百万円 (620.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	59.06	
30年3月期第2四半期	87.59	

平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行ったため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たりの四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	41,477	16,800	40.5
30年3月期	42,630	16,709	39.2

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 16,800百万円 30年3月期 16,709百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				50.00	50.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	1.2	1,550	8.4	1,500	9.6	1,000	12.4	153.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	6,536,445 株	30年3月期	6,536,445 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	7,209 株	30年3月期	7,199 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	6,529,243 株	30年3月期2Q	6,529,511 株

平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行ったため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P. 3「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）のわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、個人消費は持ち直し、生産や輸出も増加する等、緩やかな回復基調となりました。

このような環境の中、当社グループにおいては、倉庫保管等の国内貨物の取扱いが堅調に推移し、複合一貫輸送、輸出車両の海上輸送、プロジェクト貨物、港湾作業の取扱いも増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は248億3千4百万円（前年同期比25億8千2百万円の増収、11.6%増）となりましたが、作業費の増加により、営業利益は5億8千3百万円（前年同期比1億3百万円の減益、15.0%減）、経常利益は6億7千5百万円（前年同期比1千9百万円の減益、2.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億8千5百万円（前年同期比1億8千6百万円の減益、32.6%減）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメント	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比増減（△印減）	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	13,816	15,014	1,197	8.7
国際物流事業	8,951	10,310	1,358	15.2
セグメント間内部売上高	△516	△490	25	—
合計	22,252	24,834	2,582	11.6

国内物流事業

国内物流事業におきましては、倉庫業は、化学品等の保管が増加したことにより、売上高は31億9千8百万円（前年同期比1.0%増）、流通加工業および陸上運送業は、料金を一部見直したこともあり、売上高はそれぞれ31億1千万円（前年同期比9.6%増）、83億1千1百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は150億1千4百万円（前年同期比11億9千7百万円の増収、8.7%増）となりましたが、営業利益は作業費・運送費等の増加により、8億1千6百万円（前年同期比2億2千6百万円の減益、21.7%減）となりました。

国際物流事業

国際物流事業におきましては、国際運送取扱業は、複合一貫輸送、輸出車両の海上輸送、プロジェクト貨物の取扱いが増加し、売上高は85億5千8百万円（前年同期比16.0%増）、港湾作業は、船内荷役・沿岸荷役とも増加し、売上高は12億6千4百万円（前年同期比12.3%増）、航空運送取扱業は、輸入貨物の取扱いが減少しましたが、輸出貨物の取扱いが増加し、売上高は4億8千8百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は103億1千万円（前年同期比13億5千8百万円の増収、15.2%増）、営業利益は売上増および固定費の削減により、5億2千7百万円（前年同期比1億3千4百万円の増益、34.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したほか、減価償却に伴う有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末比11億5千3百万円減の414億7千7百万円となりました。

負債合計は、営業未払金の増加がありましたが、借入金の減少等により、前連結会計年度末比12億4千4百万円減の246億7千6百万円となりました。

また、純資産合計は、利益剰余金およびその他の包括利益累計額の増加により、前連結会計年度末比9千万円増の168億円となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが14億7千1百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが12億6千万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが17億3百万円の支出となり、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額(5千6百万円の減少)を加え、全体では15億4千9百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、17億2千3百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益6億7千3百万円、減価償却費による資金留保9億円等により、14億7千1百万円の収入となりました。

前年同四半期(18億6千4百万円の収入)との比較では、3億9千2百万円の収入の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得等により、12億6千万円の支出(前年同四半期は8億7千3百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済等により、17億3百万円の支出となりました。

前年同四半期(15億4千6百万円の支出)との比較では、1億5千6百万円の支出の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、概ね期首予想(平成30年5月9日発表の予想数値)に沿って進捗しているため、通期の業績予想につきましては、期首予想を据え置いております。

なお、景気動向や事業環境の変動等により、連結業績予想に修正の必要が生じた場合には適時に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,272	2,253
受取手形及び営業未収金	5,701	5,432
電子記録債権	196	284
その他	940	1,079
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	10,103	9,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	46,040	46,182
減価償却累計額	△31,216	△31,765
建物及び構築物(純額)	14,824	14,417
機械装置及び運搬具	3,251	3,312
減価償却累計額	△2,103	△2,199
機械装置及び運搬具(純額)	1,148	1,113
工具、器具及び備品	2,776	2,927
減価償却累計額	△2,443	△2,500
工具、器具及び備品(純額)	333	427
土地	6,809	6,809
リース資産	862	894
減価償却累計額	△386	△399
リース資産(純額)	476	495
建設仮勘定	347	500
有形固定資産合計	23,939	23,763
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	587	593
無形固定資産合計	1,564	1,570
投資その他の資産		
投資有価証券	5,820	5,908
繰延税金資産	181	160
その他	998	1,007
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	6,969	7,045
固定資産合計	32,473	32,379
繰延資産		
社債発行費	54	54
繰延資産合計	54	54
資産合計	42,630	41,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	4,223	4,395
短期借入金	4,879	5,135
1年内償還予定の社債	1,000	—
リース債務	140	148
未払法人税等	274	275
その他	1,770	1,565
流動負債合計	12,288	11,521
固定負債		
社債	3,500	4,000
長期借入金	5,557	4,548
リース債務	378	393
繰延税金負債	282	329
役員退職慰労引当金	831	849
退職給付に係る負債	2,677	2,634
その他	403	400
固定負債合計	13,631	13,155
負債合計	25,920	24,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	5,890	5,950
自己株式	△13	△13
株主資本合計	15,669	15,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,415	1,520
繰延ヘッジ損益	△2	—
為替換算調整勘定	△202	△291
退職給付に係る調整累計額	△169	△156
その他の包括利益累計額合計	1,040	1,072
純資産合計	16,709	16,800
負債純資産合計	42,630	41,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	22,252	24,834
売上原価	20,594	23,290
売上総利益	1,657	1,544
一般管理費	970	960
営業利益	686	583
営業外収益		
受取利息及び配当金	119	124
為替差益	—	38
その他	15	17
営業外収益合計	135	181
営業外費用		
支払利息	97	75
為替差損	18	—
その他	11	13
営業外費用合計	127	89
経常利益	694	675
特別利益		
固定資産売却益	85	0
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	94	0
特別損失		
固定資産処分損	2	1
減損損失	15	—
特別損失合計	18	1
税金等調整前四半期純利益	771	673
法人税、住民税及び事業税	181	246
法人税等調整額	17	41
法人税等合計	199	288
四半期純利益	571	385
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	571	385



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	571	385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	404	105
繰延ヘッジ損益	—	2
為替換算調整勘定	△53	△88
退職給付に係る調整額	12	13
その他の包括利益合計	364	31
四半期包括利益	936	417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	936	417
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	771	673
減価償却費	908	900
減損損失	15	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9	—
固定資産売却損益 (△は益)	△85	△0
固定資産処分損益 (△は益)	2	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	48	△24
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	25	17
受取利息及び受取配当金	△119	△124
支払利息	97	75
売上債権の増減額 (△は増加)	△312	181
仕入債務の増減額 (△は減少)	339	172
その他	213	△207
小計	1,894	1,665
利息及び配当金の受取額	114	119
利息の支払額	△96	△75
法人税等の支払額	△68	△241
法人税等の還付額	20	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,864	1,471
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△529
投資有価証券の売却による収入	23	—
固定資産の取得による支出	△582	△724
固定資産の売却による収入	1,435	0
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	0	0
投融資による支出	△7	△11
投融資の回収による収入	4	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	873	△1,260
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	428	624
リース債務の返済による支出	△74	△75
割賦債務の返済による支出	△38	△39
長期借入金の返済による支出	△1,537	△1,378
社債の発行による収入	—	489
社債の償還による支出	—	△1,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△324	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,546	△1,703
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	△56
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,159	△1,549
現金及び現金同等物の期首残高	1,715	3,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,874	1,723

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,361	8,890	22,252	—	22,252
セグメント間の内部売上高 又は振替高	455	60	516	△516	—
計	13,816	8,951	22,768	△516	22,252
セグメント利益	1,042	393	1,435	△748	686

(注) 1 セグメント利益の調整額△748百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△748百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,588	10,245	24,834	—	24,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	426	64	490	△490	—
計	15,014	10,310	25,325	△490	24,834
セグメント利益	816	527	1,343	△760	583

(注) 1 セグメント利益の調整額△760百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△760百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。